

事業報告書

1. 事業の状況

(1) 概況

当財団は、「医薬品の開発をはじめとする生命科学に関する諸分野の研究を奨励し、もって国民の健康と福祉の向上に寄与する」ことを目的として昭和60年2月19日に厚生大臣の認可を受けて設立し、平成22年1月19日に内閣総理大臣の認定を受けて同2月1日公益財団法人に移行した。

平成26年度は、基本財産として保有する大正製薬ホールディングス株式会社株式に対する配当金収入を活用し、わが国の企業をベースとする財団としては最大規模の事業を行った。

(イ) 研究助成、海外留学助成を引続き高水準で実施した。

(ロ) 研究業績褒賞を行った。

(ハ) 当財団主催の第11回国際シンポジウムを開催した。

(ニ) 第9回特定研究助成を開始した。

(ホ) 定例刊行物である「研究報告集Vol. 28 2014」、「一年のあゆみ平成25年度版」および「平成26年度上原賞受賞者講演録」を作成した。

(2) 各種助成金

平成26年3月11日開催の理事会で決定した事業計画に基づいて、同年5月30日開催の理事会で「交付対象者選出に必要な事項」を決定し、6月10日より募集を行った。

応募申請は、9月5日に締切り、各選考委員が書面審査の上、11月5日及び11月28日に選考委員会を開催して選考を行った。

この選考結果を12月17日開催の理事会・評議員会で検討して、交付対象者ならびに交付金額を決定し、直ちに応募者に通知した。

採択者に対する助成金の支払いを、平成27年1月より開始した。

(イ) 第9回特定研究助成金

特定研究テーマ検討委員会の答申を受け、平成26年度事業計画に「生体を見る・操る新技術の開発」を助成対象とすることが盛り込まれた。

公募の結果109名の応募があり、平成26年度を初年度として次の通り実施することとし、初年度の助成を行った。

(1件当たりの助成金)

	平成26年度	27年度	28年度	助成金合計
特定研究助成A 助成件数6件	千円 5,000	千円 5,000	千円 5,000	千円 15,000
同 B 助成件数13件	〃 3,000	〃 3,000	〃 3,000	〃 9,000

(ロ) 研究助成金 (1件5,000千円)

90件の助成を決定した。

(ハ) 研究推進特別奨励金 (1件4,000千円)

10件の助成を決定した。

(ニ) 研究奨励金 (若手研究者対象1件2,000千円)

90件の助成を決定した。

(ホ) 海外留学助成金

本年度も、リサーチフェローシップとポストドクトラルフェローシップの2種目とし、合わせて121件採択した。その内8件を2年間助成とした。

(ヘ) 来日研究生助成金

3件の助成を決定した。

(ト) 国際シンポジウム開催助成金 (1件1,000千円以内)

わが国で開催される国際研究集会に24件の助成を決定した。

(3) 研究業績褒賞 (上原賞)

生命科学に関する研究で、顕著な功績をあげ、引続き活躍中の研究者を主要学会、当財団役員・評議員・諮問委員および既上原賞受賞者に推薦をお願いし、17名の候補者のなかから2回の選考委員会での厳正、慎重な討議の結果、東京大学大学院医学系研究科教授の狩野方伸氏を受賞者に決定した。

(4) 第11回国際シンポジウムの開催

第8回特定研究助成の研究成果の発表を兼ね、次の通り開催した。

・テーマ(名称)

和文名：上原記念生命科学財団シンポジウム 2014

「革新的医療を創生する医学研究」

英文名：The Uehara Memorial Foundation Symposium 2014

Innovative Medicine : Basic Research and Development

- ・会議日程
平成26年6月15日～17日
- ・会場
ハイアットリージェンシー東京
- ・組織委員

名誉委員長	中西 重忠	(大阪バイオサイエンス研究所所長)
委員長	中尾 一和	(京都大学特任教授)
副委員長	上本 伸二	(京都大学教授)
	湊 長博	(京都大学教授)
委員	岩井 一宏	(京都大学教授)
	北村 和雄	(宮崎大学教授)
	鈴木 聡	(九州大学教授)
	八十田明宏	(京都大学講師)
- ・講演者 31名 (国内23名、海外8名)
- ・参加者 約200名

(5) 刊行物の発行

- (イ) 平成24年度の研究助成金および同奨励金受領者等よりweb入稿された研究経過報告書をとりとまとめ、「上原記念生命科学財団研究報告集Vol. 28 2014」を刊行した。
- (ロ) 当財団の年報「平成25年度上原記念生命科学財団一年のあゆみ」を作成した。
- (ハ) 「平成26年度上原賞受賞者講演録」を作成し、贈呈式出席者に配布した。

(6) その他

海外で開催される国際研究集会に対する助成に関しては、所定の審査手続きを経て、「筋興奮収縮連関についてのゴードン研究会議」に1万米ドルの助成(寄付)を行った。

助 成 金 の 内 訳

＜ 贈 呈 決 定 額 ＞

(金額単位：千円)

	助成金の名称	助成の対象者	1件当たりの助成金額	応募件数	助成件数	総助成額
定款第5条第1号 研究助成	第9回特定研究助成金	「生体を見る・操る新技術の開発」を行う研究者	(A) 15,000千円 (B) 9,000	109	6 13	} 207,000千円 〔 本年度 〕 69,000
	研究助成金	単独・共同研究等 いずれでも可、年齢不問	5,000	356	90	
	研究推進特別奨励金	平成24年4月以降に独立した研究室又はチームを立ち上げた教授(昭和44年4月1日以降出生の者)	4,000	20	10	40,000
	研究奨励金	昭和52年4月1日以降出生の者、但し6年制学部出身者は昭和50年4月1日以降出生の者	2,000	257	90	180,000
同条第3号 派遣及び 招聘の助成	海外留学助成金 リサーチフェローシップ	年齢基準等研究奨励金と同じ	4,000以内	284	81	260,500
	ポストドクトラル フェローシップ	昭和56年4月1日以降出生の者で博士号取得直後の無所得者	同上	94	40	149,800
	来日研究生助成金	わが国の大学院博士課程に新たに入学するために来日する研究者	奨学金月額 150	4	3	10,800 (支払は一部来期以降)
同条第4号 シンポジウムの助成	国際シンポジウム 開催助成金	わが国で開催される 国際研究集会	1,000以内	26	24	24,000

褒 賞 の 内 訳

	褒賞の名称	褒賞の対象	1件当たりの褒賞	被推薦件数	褒賞件数	副賞の総額
定款第5条第2号 研究業績褒賞	上原賞	顕著な功績をあげ活躍中の研究者	正賞 金牌 副賞 20,000千円	17	1	20,000千円